スポーツ推進委員会通信
ふれ愛

第19号
平成30年
4月発行

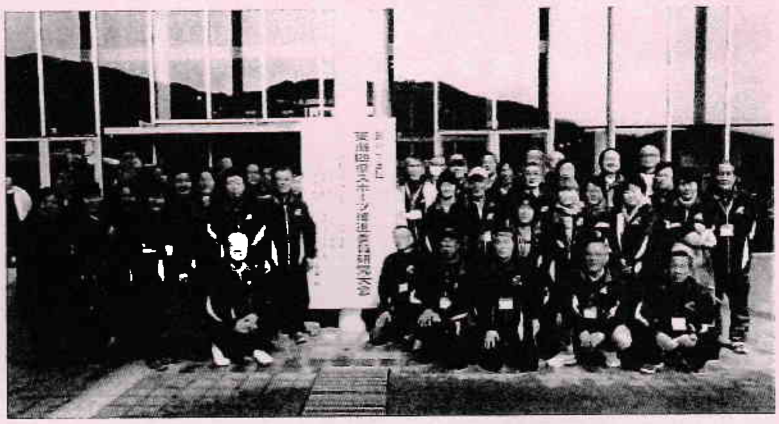
発行
津市スポーツ推進委員会
広報部会

第65回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 岐阜大会

と き
平成３０年２月１６日(金)１７日(土)
ところ
全 体 会 下呂交流会館アクティブ：「温アリーナ」
第１分科会 下呂交流会館アクティブ：「温アリーナ」
第２分科会 下呂交流会館アクティブ：「泉ホール」
第３分科会 下 呂 温 泉 水 明 館 ：「朝陽の間」

東海四県のスポーツ推進委員が集い、地域における生涯スポーツ振興の実践活動について研究・協議することを目的に去る２月の16・17日の2日間にわたり、下呂市で開催されました。スポーツ推進員としての資質の向上及び委員の交流を図り、参加者が相互に意見交換をすることにより今後の活動の一助になることと思います。

今年の大会のテーマは、「地域スポーツへのスポーツ推進委員の役割」が掲げられ、初日(2/16)は全体会、２日目(2/17)の分科会に津市スポーツ推進委員41名が参加し、熱心に研究・協議を行いました。



初日の開会式では「スポーツ推進委員功労者表彰」に津市スポーツ推進委員から、4名の方が受賞されました。

開会式後の講演では、地元下呂市出身の大前光市氏による「失敗や変化をチャンスに変える～からだとあたまの可能性～」について。氏が23歳の時に交通事故で左足を失い、体を自由に動かす事ができなくなり、その逆境をバネに物事の考え方・見方を変え、様々な壁を乗り越えていくと言う、氏の血のにじむような努力と経験を熱っぽく語られました。ステージでは、見事なダンスのパフォーマンスを表現され、現在、プロのダンサーとして活躍されている姿をみて感銘を受けました。

現在のスポーツ環境は、特に障がい者スポーツへの理解と認識が高まり、スポーツを通じて壁のない社会環境の構築に、私達スポーツ推進委員の言動が重要視されるのではないでしょうか。

２日目は、３つの分科会に分かれ、それぞれ岐阜県内市町のスポーツ推進委員会が取り組んでいる研究発表を傾聴し、今後の津市スポーツ推進委員が取り組むべき方向を決めていくひとつの手立てになったのではと考えます。

第65回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 岐阜大会

第２分科会に参加して

修成地区　　前村　淳

東海四県スポーツ推進委員が一同に会し、スポーツ推進委員の実践活動について研究・討議し、スポーツ推進委員の資質向上を図り、参加者が相互に意見交換を図る目的で、本大会は下呂市において行われました。また東海四県から約2,300人の委員が参加されました。

１日目は、スポーツ推進委員として長年携われた方々の表彰式に続き、講演が行われました。講師は23歳の時、交通事故で左足を失い、体を自由に動かせられなかったダンサーの大前 光市氏で昨年ＮＨＫ紅白歌合戦で歌手の平井 堅さんとコラボされた方です。今３８歳ですが交通事故に遭われ、１０数年間辛い思いをされたということ、これからも前向きに生きるというお話が、聞く側にとても響いてきました。そしてすばらしいダンスも披露してくれました。これからのご活躍を期待したいと思います。

２日目は、第２分科会に参加しました。２市町から研究発表がありました。

御嶽町は、「ベアリング考案と普及活動」という内容です。

カローリングは皆さんご存知と思います。真っ直ぐしか動きませんが、ベアリングは３６０度動くというものです。会場内コーナーにはベアリングが展示され説明もされて、なかなか面白いと思いました。長所（一度に多くのチームが対戦できる・安価で１セット130,000円ほどで購入できる)、短所（広いスペースが必要）もありますが「全国展開したい」と熱い思いが伝わってきました。助言者の方からも大絶賛でした。

瑞浪市は「ノルディックウォーキングの普及活動に努めている」との発表です。

スポーツ推進委員の方がライセンスを習得し、各地区で活動している。又、コース設定（３キロ～６キロ）も住民の方々と相談し普及活動に努め、参加者も徐々に増えているとのことでした。そして、発表会場ではノルディックの道具を使って、いろいろな運動方法が紹介されました。今は、寿命100歳です。健康年齢を上げて、医療費の削減に努め、元気な津市に三重県に。スポーツを通していつまでも元気に過ごさなくてはなりません。そのためには市民、県民が何か１つでも、スポーツに携わることが必要だと思います。

スポーツ推進委員の皆さんスポーツ普及活動に努めましょう。今回、初めて参加させていただきましたが、内容のある充実した２日間でした。特にスポーツ推進委員の方々との楽しいコミュニケーションが一番印象に残りました。

次回も是非参加したいと思っています。最後にお世話いただいた津市の担当者の方々、関係者の方々に感謝申し上げます。

第65回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 岐阜大会

第1分科会に参加して

南立誠地区　坂井　孝二

「地域社会の変化に合わせたスポーツ推進委員のあり方」　瑞穂市

「いつでもどこでも１町民１スポーツ」　養老町

今回は、「日本三大名泉」で有名な岐阜県下呂市での開催でした。下呂交流会館アクティブ「温アリーナ」に前日の研究大会の半分の1,200人の参加を得ての分科会でした。

瑞穂市は、総合型地域スポーツクラブ、体育協会、地域、学校と四位一体で連携、協働を行い地域住民と活動スローガン、コーディネート、コミュニティ、コミュニケーション、チャレンジの頭文字のＣを取って「４Ｃの実行」とスローガンに掲げ取り組んでいました。

養老町は「１町民１スポーツのまち」とスポーツ推進計画を定め、年間100万人訪れる観光客と養老鉄道を活用したウォーキングやボールを活用したバルシューレという子どもも楽しめるゲームの普及に18名のスポーツ推進委員が活動をしていました。最近はどこの地域も事業のマンネリ化が見られ、目標やスローガンは素晴らしいが中身が伴わなく、苦労をされているようでした。特に瑞穂市は今回の発表に大変苦慮されたようでこのままではとの思いもあり、この発表をきっかけに全てを見直し、スポーツ推進委員全員で真剣に検討した結果、委員全体の意識改革につながったのではないでしょうか。

ウォーキングからノルディックウォーキングに変えたり、参加者を増やすために広報にも力を入れチラシを作成したりしました。そして人が増えることにより、メディアも興味を持つだろうし、想像をするだけでも楽しくなります。

バルシューレも各地区講習会での指導のため、教育委員会へＣ級指導者養成講習の継続実施を要望をし、今後につなげていくそうです。

私たちも運営方法の見直しを頭に入れ、Ｐｌａｎ（計画），Ｄｏ（実施）、Check（評価）、Ａｃｔｉｏｎ（改善）とマネジメントサイクル手法を実践し、より新しいよいものを創造していくことが必要です。

【雑記】PDCA から「CAPD」で動く！

「効率よく業務を行う仕事の進め方に『PDCA』という考え方があります。Plan（計画）、Do（実行）、Check（振り返り）、Action（改善・処置）の4つのステップの順で進めていくことで、ムダなくモレなく進めることができることから、業務を進めていく上で基礎とも言われています。

より業務のスピードアップを図るには、『PDCA』の順番を入れ替えて、Check（振り返り）→ Action（改善・処置）→ Plan（計画）→ Do（実行）の順で進めるのです。

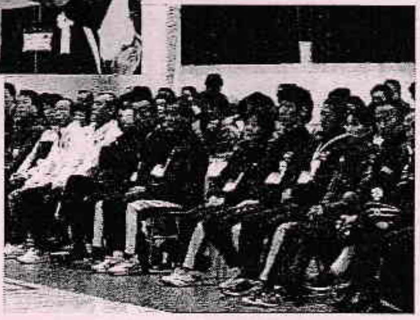
「まず、『Check（振り返り）として現状はどうか？』を考えます。続けて『Action（改善・処置）、何から改善していけばよいのか？』を整理します。そのうえで、Plan（計画）、Do（実行）と続きます。現状を振り返り、そこにうまく新たなやり方を導入できるようチューニング作業が先に必要というわけです。」

「計画の障害になる要因があれば進行するうえでの足かせにもなります。せっかく立てた計画も絵に描いた餅の理想論で終わる危険性が高まります。現状を振り返り、今後の計画の障害要因を先に取り除くことが大切です。」‥‥‥ まず、現状把握、「灯台もと暗し」になっていませんか？

平成29年度 三重県スポーツ推進委員研修会
兼 第58回 三重県スポーツ推進委員研究大会

と　き 平成２９年１２月９日（土）
ところ 津市産業・スポーツセンター
サオリーナ

広報部会　河端　徳昭



県内のスポーツ推進委員が一堂に会し、地域におけるスポーツの推進について研修を行う、三重県スポーツ推進委員研修会兼三重県スポーツ推進委員研究大会が、８年ぶりに津市スポーツ推進委員会主管で行われました。第58回を迎える本大会を昨年10月にオープンしたサオリーナにおいて、県内各市町の推進委員300名を越える参加者のもと開催されました。

津市が主管のため、昨年10月より大会実行委員会を立ち上げ、企画・運営を立案し、大会前日の準備、役割分担、当日の役割など詳細にわたり計画をし、推進委員全員が「おもてなし」の心をもって大会に備えました。

大会は10時30分から始まり、開会式では、前葉市長から歓迎のお言葉をいただきました。津市スポーツ推進委員は79名が参加し、スポーツ推進委員功労者表彰では、長年の生涯スポーツの普及・振興が認められた県内の26名のスポーツ推進委員が表彰され、津市スポーツ推進委員会からは6名の委員が受賞しました。

講演会では、「みんなで大きく育てようスポーツの力」と題し、高田短期大学バレーボール部監督、日本バレーボール協会公認講師の秋津 修氏から講義をいただきました。

実技研修では、場所を変えてメインアリーナで、天野式リトミック準拠体操指導員であり、津市スポーツ推進委員の桂山ひろ子氏より「リズムを取りながら脳を鍛えましょう！」のテーマで音楽に合わせた脳と体の体操の研修を実施しました。

今大会の主管・運営の経験をもとに、平成31年に行われる『全国スポーツ推進委員研究大会（津市産業スポーツセンターサオリーナ主会場）』を成功させることが今後の課題のひとつと考えます。

第58回 全国スポーツ推進委員研究協議会

一志ブロック　福島 公子

とき 平成29年11月9日（木）10日（金）
ところ つくば カピオアリーナ

第58回全国スポーツ推進委員研究協議会が（11／9～11／10）茨城県つくば市の「つくばカピオアリーナ」で開催され、全国各地より総勢3,700余名が参加し、水戸市立石川小学校マーチングバンドの歓迎を受け、開会式が行われました。

開会式後の表彰式では、「文部科学大臣表彰」87名、「全国スポーツ推進委員連合表彰」37団体、「全国スポーツ推進委員功労者表彰」186名、そして「全国スポーツ推進委員連合感謝状」贈呈、私たちが受賞対象となる「30年勤続スポーツ推進委員感謝状」296名の内の一人として、三重県では熊野市と志摩市から1名づつ、津市から櫛田敏秋委員と私の計4名が受賞をいたしました。

【第1日目の講演】では、講師：大久保 博元氏（プロ野球前東北楽天ゴールデンイーグルス監督）が、演題「私の野球人生」として監督時代の経験談を面白く話して下さいました。・・・野球に興味がない私にとって話に入り込めなかったけれど、私的な話は楽しかったです。
【2日目の分科会】は、第3分科会を選択しました。この分科会は「誰もが一緒に楽しく」～ユニバーサルなスポーツの振興を目指して～ をテーマに
①講師：広島県障がい者スポーツ指導者協議会事務局長：大江 健一郎氏
　演題：障がい者とともに楽しむ～「肢体不自由者」の受け入れポイント～
②講師：茨城県行方市スポーツ推進委員会副会長：高野 照代氏
　演題：「未来へ拡がる障がい者スポーツの可能性」
③講師：山形県尾花沢市スポーツ推進委員会企画部長：伊藤 一志氏
　演題：「心をつなぐ地域づくりをめざして、地域でつくる障がい者と健常者が共に楽しむスポーツ活動」

3氏の講演から、障がい者スポーツの歴史、障がい者スポーツとは、身体が不自由でもスポーツは楽しめる。「関係機関との連携」に関しては一人一人の障がいを知り合併症に気をつけ二次障害を防ぐ、残存機能を活かした動きを獲得する、ルールや用具の工夫、補装具の使用、コミュニケーションの中から信頼関係を構築、対象者の状態の把握、「一緒に楽しむ指導（支援）」を心がけていく事が重要との講演があり障がい者の方への理解と認識を新たにしました。また、多くの方がスポーツに触れ合える環境を提供いただけるような地域での取り組みの検討をして下さいとの課題提示がありました。

乗り継ぎ、乗り継ぎの少し忙しい旅ではありましたが、初めての参加で委員としての自覚をもう一度、見直さなければという思いが・・・勉強になりました。
ご一緒して下さった会長他委員の方、事務局の皆様ありがとうございました。お疲れさまでした。

【参考】第58回 全国スポーツ推進委員研究協議会に参加をした県内市町の参加数は、下記の通りです。

熊野（3）、四日市（20/76）、志摩（3）、木曽岬（2）、
鈴鹿（7/61）、亀山（1/28）、桑名（4/40）、伊賀（3/78）、
松阪（8/60）、伊勢（2/61）、いなべ（0/17）、名張（0/30）、
津（6/121）　（参加数/委員数）

津 ブロック

◆平成29年度 津市ファミリーバドミントン大会◆

坂井　孝二

平成３０年３月４日（日）安濃体育館において、津ブロック主催のファミリーバドミントン大会が行われました。今年で６回目になる大会に津市外からの参加もあり、40チーム（170人程の選手）に８面のコートを設け、白熱した戦いを楽しんでいただきました。

市民の皆様にスポーツをする機会を提供し、各地区のチームの交流、相互の親睦を深め、生涯スポーツの普及と健康増進を目的に毎年開催している大会です。選手の皆さんも回を重ねるごとに技術も上達し練習の成果も感じられます。

私達も審判技術の向上、そしてスポーツ推進委員としての資質の向上に向けた研修の成果を発揮する機会となり年度末のこの大会を毎年楽しみにしております。

最後に、今大会開催に向けご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

優　勝	井田川グーフィーズ	（鈴 鹿 市）
準優勝	安東Ｂ	（安東地区）
三　位	白塚タートルズ	（白塚地区）
敢闘賞	ＫＦＢ－Ⅲ	（片田地区）

安芸ブロック

◆『爽風ウォーキング』◆

川口　真一

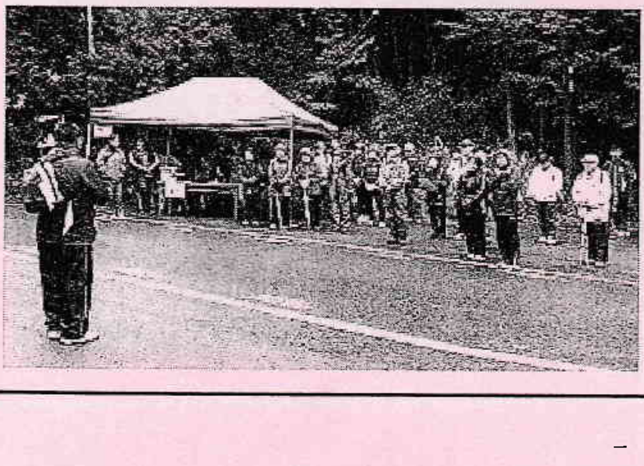
11月23日（祝）、安芸ブロックと美里体育振興会の共同事業として「爽風ウォーキング」を開催しました。

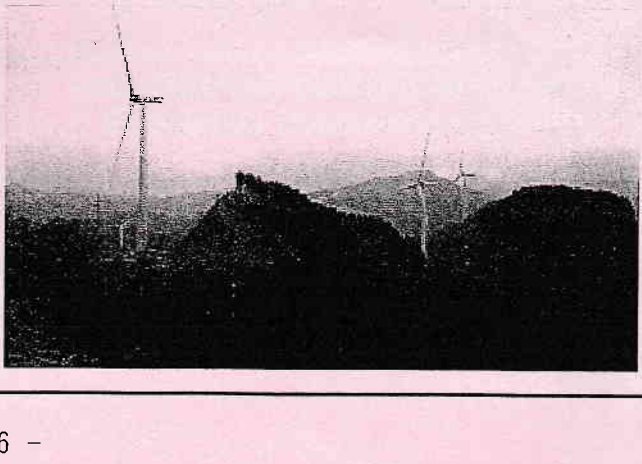
「爽風ウォーキング」は、株式会社シーテック様の全面協力を得て、笠取山に数年前に設置された風力発電施設（風車群）を巡る往復６ｋｍの山岳ウォーキングです。

ルートは新長野トンネル横から出発、普段立ち入り禁止区域で急勾配の続く作業道路を通りながら山頂の16号風車を目指します。

当日は、約30名、最年少7歳から最高齢75歳まで幅広い年齢層が参加いただきました。それぞれ、自分のペースで歩き、全員が登頂できました。山頂付近は大変風が強く風車群に適した環境であることを体感できました。

美里地区は、小さな面積、且つ、大半を山に囲まれています。今後も地区の特徴を活かした企画・イベントを打ち出していきたいと思います。





久居ブロック

◆ 久居ブロック交流会 ◆

飯田　幸則

平成２９年１１月２６日（日）秋晴れの下、久居市にある市営球場にて久居ブロック交流試合としてグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

この大会は、久居ブロックスポーツ推進委員にて、グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て、毎年、開催されるもので、参加者に喜んでもらおうと選手の表彰以外にもお楽しみ抽選も実施し、大会を盛り上げています。

今年は、スケジュールの関係で昨年より参加者が若干少ないものの、選手、スタッフを合わせて１０６名となりました。１２組コースは１２ホールの２ラウンドで開催し、ホールインワンは前半６本でしたが、後半は２３本も飛び出し、皆さん1ラウンド目の反省を考慮してか２ラウンドの修正は目を見張ります。

地面が荒れた箇所もある中、５０ｍ級のロングホールでのホールインワンは神業です。

大会終了し、笑顔で帰宅される選手のみなさんを見て、２０１７年の久居ブロックの事業も全て無事に終えたことをメンバー全員が実感しました。２０１８年は、反省点を踏まえ、更に全員が満足し、喜べる事業を進めていきたいと考えます。

一志ブロック

◆ ボッチャ研修会 ◆

藤岡　三枝子

平成３０年1月２３日（火）最後のブロック研修会が、一志東小学校でありました。

当日は、天候が少し悪く集まった委員さんは少なかったのですが、1月２８日（日）四日市スポーツ推進委員主催のボッチャ大会に参加するため（委員の子どもたちも大会に出てくれました）みんなでワイワイ・ガヤガヤ言いながらボッチャのゲームをしました。

最初は親子でダブルスのゲームをしましたが、親の方が「ボールが思うように転がらんわ」と言い、ボールを持ってみると少し硬いのに気づき、委員がネットで調べると少し安価の用具である事が解りました。

子ども対大人とゲームを進めていったのですが、大人達は思うようにジャックボールに近づける事ができず「これは、ボールが硬いので上手くいかんわ」と言っていた人もいましたが、子ども達は回を重ねる毎に上手くなりボールを自分の思うようにコントロールしていました。

時間がきたので「ボッチャ大会頑張ろう！」と言って研修会は終わりました。

一般、ダブルス、ファミリーの５チームで参加をし、ダブルス、ファミリーは準優勝でした。

最後にブロック研修会として１年間、障がい者スポーツ：ボッチャに取り組んできましたが、障がい者の方と親交を深め、四日市市のようにお互いスポーツのできる環境になればと思いました。

ブロックの皆さん次年度も仲良く頑張りましょう。

スポーツ推進委員
紹介コーナー

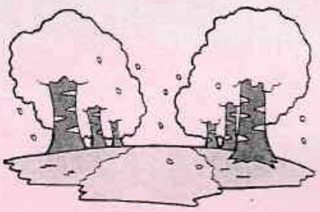
津ブロック

雲出地区　谷　美恵

スポーツ推進委員をさせていただいてから、グラウンド・ゴルフ大会、津シティマラソン大会、ファミリーバドミントン大会等に携わらせていただき感じたことは、準備段階での大変さ、大会当日の大変さでした。

しかし、大会に参加していただいた方々が楽しんでいる姿を目のあたりにし、やり終えた後は、とても充実していました。

私は、他のスポーツ推進委員の先輩方に比べ、まだほんの少しのお手伝いしかできていませんが、今後もスポーツ推進委員の方々と交流を深め、楽しくお手伝いさせていただきたいと思っております。
今後ともよろしくお願いします。



安芸ブロック

安濃地区
馬田　まゆみ

スポーツ推進委員として活動に参加させていただき４年が過ぎようとしています。身体を動かすことは好きですが特にスポーツに長けていたわけでもなく、努まるのか不安でした。

ニュースポーツ研修や大会のお手伝いなどに参加して色々勉強させていただき視野が広がりました。経験豊かな先輩方にはまだまだ追いつけませんがインターハイや国体と三重県での開催が迫っています。

推進委員として少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。

久居ブロック

成美地区　梶原　俊之

推進委員も本年３月で４年経過することになり、１年目は活動の中身も全く解らないままスタートしましたが、榊原温泉マラソン、地区交歓会、グラウンド・ゴルフ大会等をお手伝いしている間に参加者を始め、各イベントの協力者の皆さんとの交流を通じてスポーツへの参加の喜び、苦労など裏と表についても知ることができたと思います。今年は冬季オリンピック、そして、２０２０年は東京オリンピックが開催されますがこれまでとは違った視点で見ることができると思います。

今、確実に言えることは準備に携わり苦労したイベント、大会ほど達成感があり、鮮明に残っていることです、幸い久居ブロックのメンバーは全員頼りになる方で、何でもやりきる集団です。たくさんお世話になりました。今後も記憶に残るように協働していきたいと思います。

一志ブロック

香良洲地区
外山　つや子

スポーツ推進委員に任命されて、地域活動に参加させていただくことになって、１０年余りとなりました。

その間には、津市との合併があり、多くのスポーツ推進委員の方々と研修会、会議、イベントで交流を深める中で組織力、行動力を発揮して活動に取り組むことが大切だと感じました。

地域にニュースポーツを普及させる事はもちろん、自主的なスポーツ活動、健康増進、生涯スポーツ、障がい者スポーツなどスポーツを親しめる機会を拡充し、スポーツを通じて地域の人達とコミュニケーションを図り、微力ながらも健康で生きがいのある体力づくりに貢献できればと思っております。

津市スポーツ推進委員会設立50周年記念

グラウンド・ゴルフ大会

津市スポーツ推進委員会
副会長　林　裕行

新津市が誕生してから１０年経過し、津市スポーツ推進委員会も合併して１０年という節目を迎えることができました。また、旧津市の「津市体育指導委員会」が設立されて５０年という大きな節目を迎えることができ、津市スポーツ推進委員会では、設立５０周年を記念して記念事業を実施しようという機運が高まり、市民の皆さんにニュースポーツを楽しめる機会を提供し、市民の健康増進と相互の交流・親睦を図り、健康な市民生活に寄与する目的で、平成２９年１１月５日（日）津市安濃中央総合公園内多目的グラウンドにおいて「グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。

大会実施に向けて実行委員会を組織することになり、津市内の１０地域のスポーツ推進委員から各１名を選出していただき、会長、副会長４名、理事長、副理事長の１７名でグラウンド・ゴルフ大会実行委員会を組織し、平成２９年２月２８日（火）に第１回の実行委員会を開催しました。参加募集については、各地区から２５名の参加者を募集し、１０地区から２５０人の参加者を募集することになりました。２５０名の参加者を募集するには、グラウンド・ゴルフ標準コースを４面確保する事が必要で津市安濃中央公園内多目的グラウンドに標準コース４面のコース設営が可能か確認するため、会場の下見をすることからスタートしました。私はコース責任者として、コース設営可能と判断し、コースの設営、大会運営等を担当させていただきました。

事前準備として、ゲーム終了後の集計業務がスムーズに行われるようパソコンを活用する事になり、集計係によって集計ソフトを開発していただき、集計業務をシュミレーションする等して集計事務時間の短縮に向け努力していただきました。また、参加者の組み合わせについても各地域２～３人が同組となるよう配慮していただきました。事務用品の準備、賞品の準備、バスの配車等スポーツ推進委員が役割を分担し、大会に向けて準備していただきました。実行委員会を８回開催するほか、前日準備等皆様のご協力によりまして無事に大会を迎えることになりました。

大会当日は、前葉津市長様にもご臨席いただき、参加者１７４名、スタッフの津市スポーツ推進委員３２名の参加で盛大に開催することが出来ました。台風で１週間延期となりましたが、お天気に恵まれ、選手の皆様には楽しくプレーしていただき、気持ちのいい汗を流していただきました。運営もスムーズに進行し、計画通り無事に終えることが出来ました。目的を達成するとともに、グラウンド・ゴルフ大会を通じて地域のコミュニティに貢献できたと思います。今後も、津市スポーツ推進委員会は、津市民の生涯スポーツの普及推進を図るとともに、スポーツを通じて地域のコミュニティづくりに貢献していきたいと思います。最後に、大会に向けてご尽力、ご協力いただいたスポーツ推進委員の皆様、お世話いただいた事務局の皆様に心から御礼申しあげます。ありがとうございました。

【大会結果】

優勝	畑中	信弘	（津）
準優勝	長野	守	（安濃）
３位	若林	宗浩	（安濃）
４位	上原	宏善	（美里）
５位	堀	品美	（安濃）
６位	駒田	定	（芸濃）
７位	谷口	敏子	（久居）
８位	阪	政弘	（河芸）
９位	結城	實	（美杉）
１０位	小瀬古	正	（久居）

～津市民スポーツ・レクレーションフェスティバル～

カローリング大会

安芸ブロック　大河内　充

平成２９年１０月２２日、津市産業スポーツセンター　サオリーナで台風接近の中、３２チーム（２７チーム＋５チーム（スポーツ推進委員チーム）で行われました。予選リーグ、決勝トーナメントを予定しておりましたが、前日からの台風の影響で安全面を考慮し、予選リーグのみで順位を決め終了としました。

初めてのカローリング大会となり色々な問題点があったように思います。今後の大会に同じ失敗をしないように、推進委員さん全員で考えたいと思います。先ずは、参加チームの問題です。チーム募集中には殆ど参加チームがなく、締め切り日が過ぎても一桁のチーム数しか集まりませんでした。１０月はスポーツを楽しむには最高の秋で各地域での催しと重なり合ったかもわかりませんが、各ブロック、各委員さんのＰＲ不足もあったのではと思います。あるブロックでは、チームを募集するように連絡が無かったと委員さんがおっしゃっており非常に残念でした。理事会、役員会でチーム募集をお願いしたにも拘わらずブロックの末端まで届かなかった事は非常に残念でならないと思います。一部の方に負担を掛けるのでなく、一人一人が責任と自覚を持って今後、頑張っていただきたいと思います．一人の力では何ほどもできないと思います。推進委員全員で目標に向かって活動していきましょう。

大会は、参加チームの中には初めての方もあり、委員さんにもあまり体験されていない方がみえ、最初、スムーズに行えず、一時どうなるか？と心配しましたが、試合が進むにつれ、各コートの推進委員さんの指導の下、参加者の笑い声が絶えず楽しんでられるように思いました。「あまりにも楽しく、お腹が痛くなるほど笑い転げ、カローリングにはまってしまったので、次回も是非誘って下さい」と参加者の方に言われました。

このスポーツは、お子さんから高齢の方、障がいをお持ちの方でも参加でき、初めてされる方でもすぐにできると思います。色あでやかなストーンを各６投し、最後の１投で大逆転というスリルもあり、楽しいスポーツでありますので、１回の大会で終わることなく、今後も開催をお願いしたいと個人的には思っております。

用具の準備とか、前日からのコート設営とか事務局、推進委員さんにはご苦労おかけいたしましたし、予選リーグ終了となり、満足いただけなかった方もあったかも、わかりませんし、反省点もあったと思いますが、この経験を次の大会に活かしていきましょう。

ボッチャの体験をお世話いただいた一志ブロックの委員の方々、当日来れずに準備でお世話になった方々、当日の大会運営にご協力いただいた方、すべての方々に感謝します。・・・・お世話になりました。

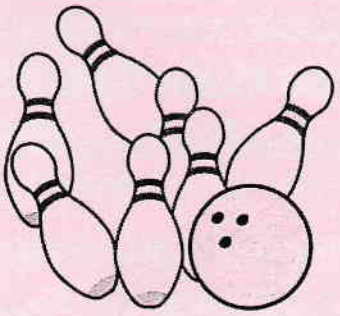
平成29年度 津市スポーツ推進委員交流会

ボウリング大会

久居ブロック　千田　勝

今回は、４年に一度の幹事が巡ってきましたので、久居ブロックがスタッフを努めさせていただき、「久居ボウル」にてボウリング交流会を行いました。
「こんな大会くらいでしか最近はボウリングをしていないから久しぶり！！」なんておっしゃりながらも流石、スポーツ推進委員、交流会とはいえ、参加された老若男女全員ハンディー無しで一切の小言も無く、楽しんでもらえた事、大変有り難く思いました。ドライブレコーダーを装着して無かったので、再現フィルムの無いのは残念ですが、大会では様々な珍プレー、好プレーが各レーンで見られ、結構なにぎわいでありました。

参加人数は予想よりも下廻り残念なところもありましたが、参加された皆さんは新しいお知り合いも増え、楽しい交流の場になったと思われます。ありがとうございました。
最後に華麗なフックボウルで優勝された榎本さん！素晴らしかったです！！
これからもボウリングに精進して下さい。



第13回 津シティマラソン大会

寒風をものともせずに走り抜ける！

広報部会

恒例の第13回津シティマラソンが津市安濃中央総合公園の周辺コースで開催され、市内外の小学生～高齢者まで、2,500名の男女が参加し開催されました。このコースは今回が最後で次年度からは、津市産業・スポーツセンター　サオリーナを中心とした新コースで開催されることから、多数のランナーが早春の安濃を駆け抜けました。

スポーツ推進委員90名は、早朝よりスタッフとして市の職員とこのマラソン大会の運営に協力しました。又、当日の天候は曇天でしたが、風も無く絶好のマラソン日和となり、ゲストランナー土佐礼子さんも大会を盛り上げて下さいました。午前10時より10kmの部から順次クラス別にスタートし、最後に安濃グラウンドからジョギングの部がスタートし、少年団の子ども達と一緒に家族連れのみなさんもジョギング、ウォーキング？で、楽しんでいました。いい思い出づくりになりそうです。

☆受賞おめでとうございます☆

平成29年度 全国スポーツ推進委員研究大会、東海四県スポーツ推進委員研究大会、三重県スポーツ推進委員研究大会の席上にて、津市スポーツ推進委員として活躍されている下記の方々が、永年、スポーツ推進委員として住民のスポーツ実技指導・助言などにより生涯スポーツの普及・振興に貢献されている功績が認められ受賞をされました。

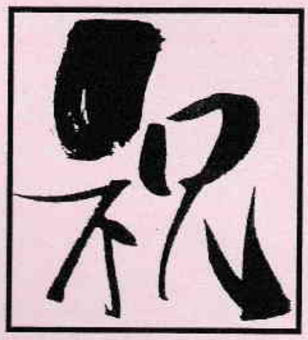
おめでとうございます！今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

【 全国スポーツ推進委員連合感謝状贈呈 】

☆ ３０年勤続スポーツ推進委員感謝状 ☆

櫛田 敏秋 さん（ 津 ブロック ）

福島 公子 さん（ 一志ブロック ）



【 東海四県 スポーツ推進委員功労者表彰 】

☆ 平成２９年度　東海四県スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

坂井 孝二 さん（ 津 ブロック ）

三岳 千津子 さん（ 津 ブロック ）

【 中ブロック スポーツ推進委員功労者表彰 】

☆ 平成２９年度　中ブロック スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

清原 知 さん（ 久居ブロック ）

小黒 冨佐江 さん（ 安芸ブロック ）

【 三重県スポーツ推進委員功労者表彰 】

☆ 平成２９年度　スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

西川 幸伸 さん（ 津ブロック ）

森川 久 さん（ 津ブロック ）

上山 光一 さん（安芸ブロック）

黒川 裕史 さん（安芸ブロック）

若菜 早人 さん（安芸ブロック）

外山 つや子さん（一志ブロック）

☆☆☆編集後記☆☆☆

平成３０・３１年度の新しい年度のスタートです！

同時に津市スポーツ推進委員会の新たな体制が始まろうとしています。

私たちスポーツ推進委員の役割と責任は、スポーツ基本法の中で「スポーツの推進に係る体制の整備を図るために社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、必要な熱意と能力を持つ者の中からスポーツ推進委員を委嘱するものとする。」と謳われており、新推進委員の選出と委員会活動の目的・目標が示されています。各ブロック、各専門部の具体的活動内容が、この委員会の目的・目標に繋がっていることが重要となります。従って具体的活動計画を立案する際には、掘り下げた深い議論が必要で、最終的には、委員全員がターゲットに向かってＰＤＣＡサイクルに沿って取り組む必要があるのではないでしょうか。また、年度初のスタートにあたり、スポーツ推進委員の存在感を高める為にあらゆる手段を講じ、地域社会の諸団体と連絡を密にし協働に取り組み、地域社会とともに発展をしていく、そんな推進委員になりたいものです。

(by batayan)

●津市スポーツ推進委員会　事務局●

〒514-0056　津市北河路町19-1　メッセウイング・みえ ２階

TEL:059-229-3254

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

http://tsu-sposui.com/

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

http://www.zentaishi.com/